■製品に関するお願い

粘土瓦の特性について

瓦は天然原料である自然の粘土を原料とした大型厚物焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使うため、それ自体が機械化に向くようにできていない、科学的な管理が難しい焼成品です。
日本の瓦は約1000年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知置きください。

- ●粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
- ●焼きもの特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また瓦は重合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦にスキマが発生する事があります。
- ●施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- ●いぶし瓦は経年の変化による黒ずみなどの色変化が発生する場合がありますが、これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。
- ●いぶし瓦は粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合がありますが、これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行するものではありません。
- ●製品は改良のため予告なく変更することがあります。
- ●製品カタログ等の色調は、印刷のため実際との色とは多少異なる場合がありますので、ご用命の際は、実物サンプルにてお確かめください。

■安全に関するご注意

当社製品の使用に際しては「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づいて施工してください

- ●粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- ●寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特種な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- ●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特種な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- ●施工後、専門工事業者以外の方が屋根面に登ることは、落下等非常に危険です。また、雨漏り等の原因になることもありますので絶対に登らないでください。

緑窯業株式会社　全工場　日本工業規格適合性認証

■本 社 工 場　〒656-0153 兵庫県南あわじ市倭文庄田338-1
TEL.0799-46-0231(代)　FAX.0799-46-0330

■営 業 本 部　〒656-0304 兵庫県南あわじ市松帆古津路878-3
西淡第一工場　TEL.0799-36-2291(代)　FAX.0799-36-4990

■西淡第二工場　〒656-0305 兵庫県南あわじ市松帆北浜71-1
TEL.0799-36-5441(代)　FAX.0799-36-5446

■博 多 営 業 所　〒811-8132 福岡県古賀市川原1289-1
TEL.092-944-1272(代)　FAX.092-944-1924

■宮 崎 営 業 所　〒880-0211 宮崎県宮崎市佐土原町大字下田島宮本12219-49
TEL.0985-73-7785(代)　FAX.0985-73-7786

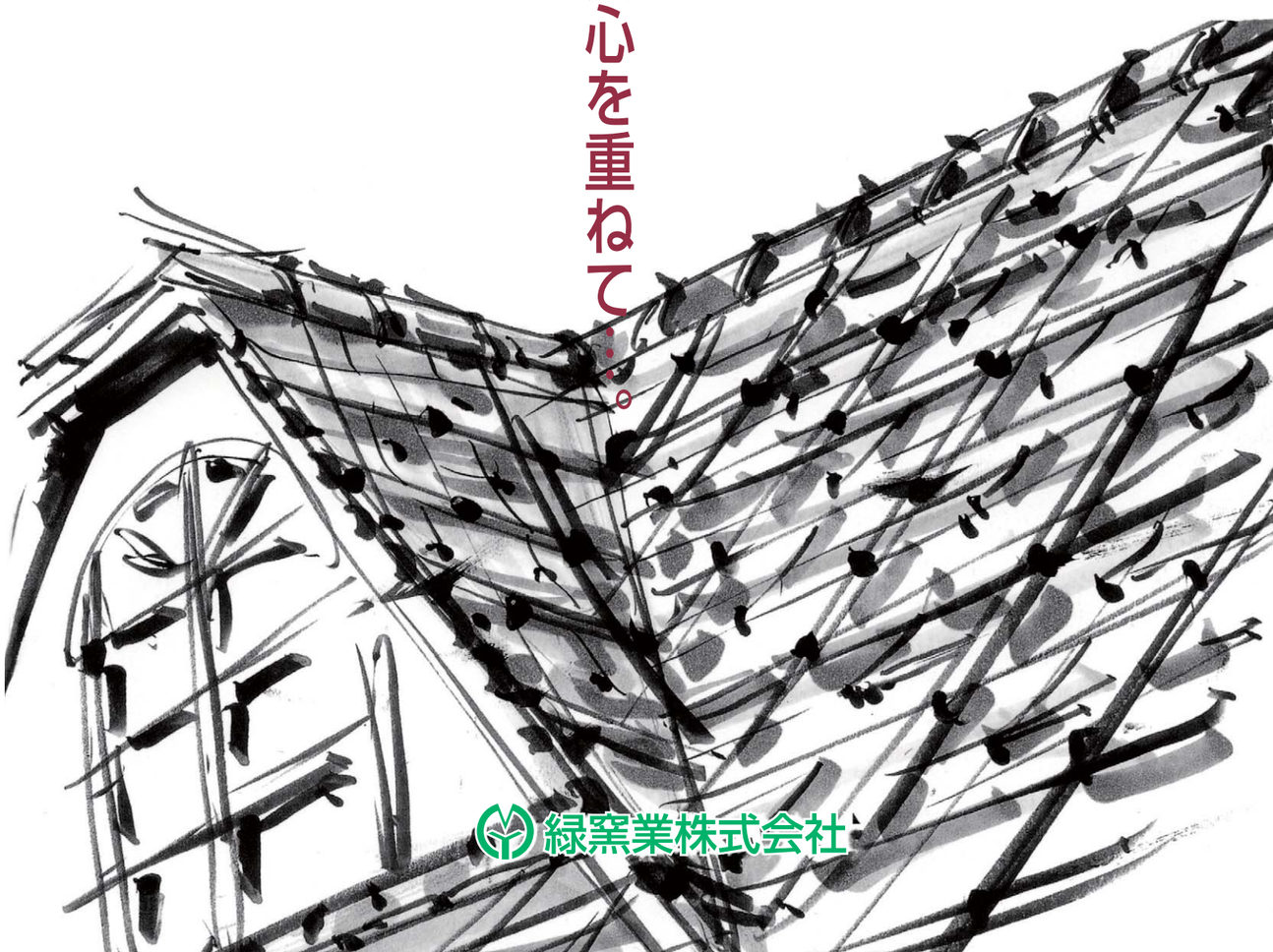
http：//www.midori-yougyou.co.jp

特約店

15/10/01/5000

Midori-yougyou

季節の表情に、美しさと安心を重ねて…。



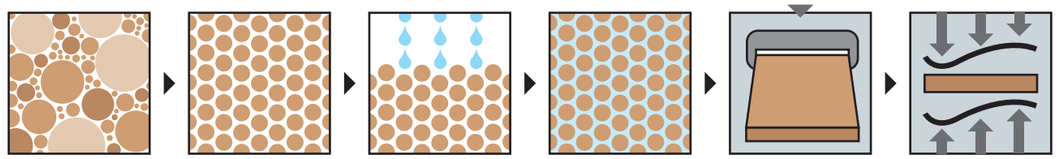
緑窯業株式会社

コンピュータと職人技の融合が、クォリティや新しい付加価値を生みだします。

私たちは、常に最高のいぶし瓦をつくるため、全自動ラインによる徹底した品質管理を実践しています。
しかし、瓦はもともと天然の素材であることから、完全に自動化できない部分があるのも事実。
そこで緑窯業では、瓦づくりを機械任せにするのではなく、コンピュータ制御に“カン”や“塩梅”といった職人の技を取り入れ、
独自の製法を確立。クォリティや付加価値の高い商品を生み出しています。

製造プロセス

耐凍害性・耐圧性に優れるように、真空土練機で練り、粘土中の気密をあげています。



1 原土調合
淡路でとれる厳選された土を使用しています。

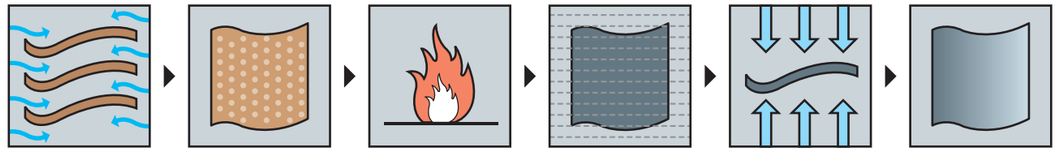
2 粉　砕
土の粒度を均一にならします。

3 加水混練
原土の変化にあわせて、水分を調整します。

4 ネカシ
水分の混ざり具合が均一になります。

5 真空・土練・押出し
技術者のカンと経験で粘土のクセを読み、調整。ここで出来具合の70%が決まります。

6 成　形
一定の圧力（10～40t）を加えて、形を整えます。



7 乾燥・平ボシ
季節の変化による歪みが出ないように乾かします。

8 はけ土
はけ土（微粒子のクレーを水に溶いたもの）を塗布し、表面をなめらかにします。

9 焼　成
均一に焼き上がるように、温度調整は1,000℃以上で自動制御しています。

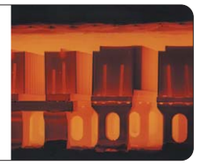
10 燻　化
密閉状態で生ガスを使用して燻化。この段階で、いぶし瓦の色艶が決まります。

11 冷　却
冷却温度を管理し、適正温度で冷却します。

12 検　査
技術者が形状を調べ、機械が歪みを検査。常に二重のチェックをします。

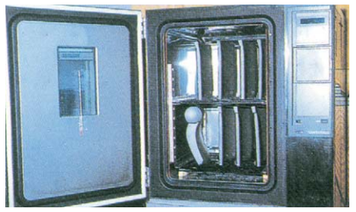
いぶし地瓦の平干し乾燥はもちろん、役瓦の自動平干し乾燥ラインは淡路唯一で一定の行儀を保っています。

最新鋭コンピュータシステムトンネルキルンで焼きしめられたいぶし瓦は寸法も安定しています。



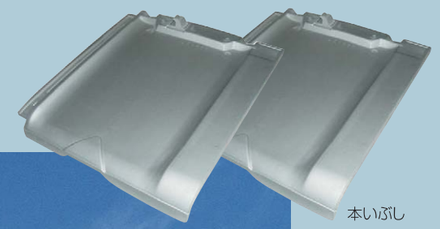
品質試験

■凍害試験
淡路瓦メーカーでは唯一凍害試験機をもち、−30°で随時試験を行い、耐寒性の検査をしています。



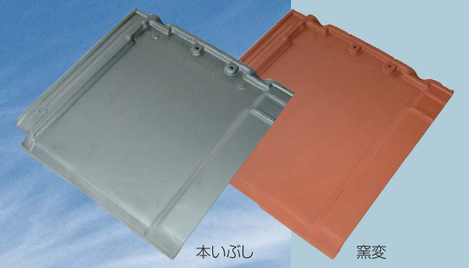
■耐圧試験
耐圧試験ではJIS規格の1500Nを越える2500Nを常時だしています。
（1kgf=9.8N）

Nice The Noah
〈緩勾配防災平板瓦〉



本いぶし

Nice The Summit
〈ノーマルタイプ〉

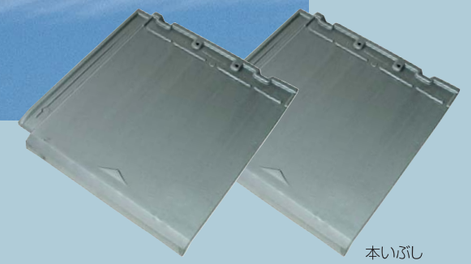


本いぶし　窯変

美と力強さの頂点を極める

Nice Series

Nice The Flat



本いぶし

プラスαの機能で、快適で安心な住み心地をお約束。

住まいの風格や快適さの決め手となる屋根。自然災害に強く、より安心な住まいをつくります。

Nice The Noah 〈緩勾配防災平板瓦〉

街並みにドラマを感じさせる、洗練された気品。

降りそそぐ陽射しに映える、格調高いデザイン。そして強さ。日本の街並みをドラマチックに演出します。

Nice The Summit 〈ノーマルタイプ/いぶし瓦〉

住まいの気品と住まう人の個性を主張。

時代のニーズに応え、和風、洋風を問わず個性的で洗練された屋根をつくります。

Nice The Summit 〈ノーマルタイプ/窯変瓦〉

瓦の伝統美を調和させた、モダンな佇まい。

家は屋根できまります。伝統を大切にしながら新しい感性を加え、現代にふさわしい屋根をお届けします。

Nice The Flat 〈ノーマルタイプ〉

Nice The Noah〈緩勾配防災平板瓦〉

厳しい気象状況にも強さを発揮します。

独自の防水設計で優れた防水性能を発揮。

「ナイス ザ ノア」は独自の防水性能で水処理構造に優れ、進入する水をシャットアウトします。耐久性にも強さを発揮し、丈夫で長持ちします。また、しっとりとした色つやが住まいの格調を高めるだけでなく、いつまでも美しさを保ちます。

通常の平板瓦と比較して、高い水返しで進入する水をブロック。

オーバー・アンダーラップのジョイント部へ進入しようとする水を高い三角水切りでシャットアウト。

本いぶし

厳しい気象条件にも安心な耐風・耐震性能。

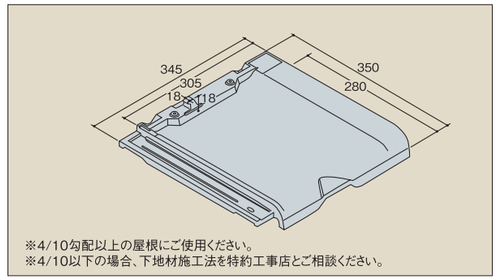
災害が起こった際に被害を最小限にとどめる事が大切です。強風や地震による瓦の持ち上がりをシャットアウト。強固な安定性が厳しい気象状況にも住まいを守ります。

水返し上部の引掛け用アームをオーバーラップ下部の凹部に差し込み、固定。

Point

上下約1cmのスライドで容易に施工

防災部の凹凸部の登りが上下約1cmスライドができ、緩勾配でも瓦割りが容易に出来ます。



※4/10勾配以上の屋根にご使用ください。
※4/10以下の場合、下地材施工法を特約工事店とご相談ください。

■製品仕様

寸　法	全長	345mm(±4mm)
	全幅	345mm(±4mm)
働き寸法	長さ	270mm～280mm
	幅	305mm(±4mm)
葺き枚数	3.3m²当たり(概要)40枚	

■標準屋根勾配とその流れの長さ

標準屋根勾配	3.0/10	3.5/10	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10
流れの長さ	8m	10m	12m	15m	17m	20m

Nice The Summit〈ノーマルタイプ〉

語らずともわかるクォリティがあります。

淡路島の良質な粘土から生まれたシックで気品ある、いぶし瓦と窯変瓦

日本瓦の産地、淡路島。ここの良質の土が生んだ高品質瓦「ナイス ザ サミット」。
シックで気品あるデザインと深い味わいの色つやが、現代建築を引き立てます。もちろん美しいだけでなく、淡路瓦はJIS規格値よりもはるかに大きな強度をもっているため、例えばテレビアンテナ取付工事などで屋根に人が上ったときでも安心です。

※窯変瓦のため、色彩の仕上がりには多少違いがでます。

優れた防水性能で日本の多雨地域でも安心

降雨量が多く湿気の多い日本において、防水や湿度の問題は住宅にとって大きな課題です。特に屋根は雨を直接受けるため、防水性能と水処理構造に優れていることが必須条件です。
「ナイス ザ サミット」は水を良くはじき、また滑らかで水が良くはしります。透水性試験においても、裏面の濡れ、水滴などが認められませんでした。また「千鳥葺き」により、重ね目が揃わないようにして、雨水の淀みや進入を防いでいます。

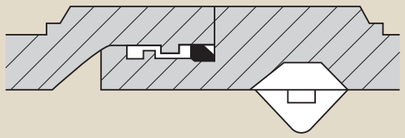
ヒビや歪みに強い抜群の耐圧性で安定した強さを発揮

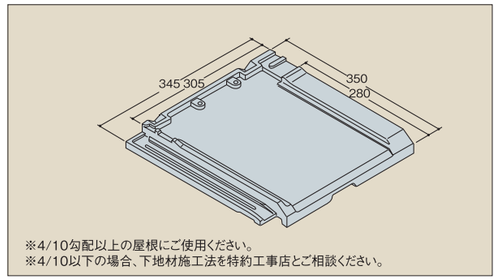
日本は台風による風雨の被害が多い国です。そのために、曲げ試験の認定値は1500N以上(153kgf)とされています。「ナイス ザ サミット」はこの認定値をはるかにクリア。この優れた耐圧性能が強力に、豪雨や風圧によるヒビ割れや歪みを防ぎ、いつまでも安定した強さと美しさを維持します。

Point

傾斜防水リブが格段の雨仕舞と強度を発揮

アンダーラップ内側に傾斜防水リブ(下図)を追加する事により、アンダーラップ本体への雨水の流入が減少出来、従来よりさらに格段の雨仕舞効果と共にアンダーラップ本体の強度を発揮します。
(実用新案登録済)





※4/10勾配以上の屋根にご使用ください。
※4/10以下の場合、下地材施工法を特約工事店とご相談ください。

■製品仕様

寸　法	全長	350mm(±3mm)
	全幅	345mm(±3mm)
働き寸法	長さ	280mm(±3mm)
	幅	305mm(±3mm)
葺き枚数	3.3m²当たり(概要)40枚	

■標準屋根勾配とその流れの長さ

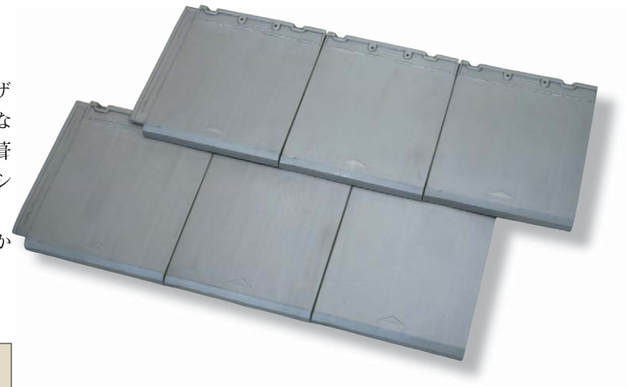
標準屋根勾配	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
流れの長さ	8m	10m	12m	15m	17m

Nice The Flat 〈ノーマルタイプ〉

シンプルで、気品漂う住まいをつくります。

都会的なイメージにあふれ 洗練された屋根瓦

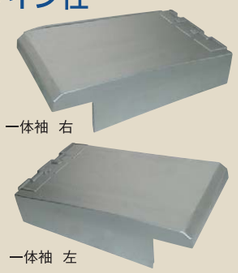
伝統を大切にしながら、新しい感性を加えた「ナイス ザ フラット」。釉薬陶器瓦だと、とかくカラフルになりがちな洋風住宅を、キリッとまとめあげ、格調高く彩ります。葺き上がりのイメージは、直線的なラインが整然と並び、シンプルな美しさを奏でます。
隅棟部を差し棟使用にすれば、より格調高く表情豊かな仕上がりになります。



Point

一体袖による スマートなデザイン性

一体袖によりすっきりしたデザインがモダンな佇まいを醸し出します。また、破風部からの雨水の浸入の恐れが軽減し、住まいを守ります。

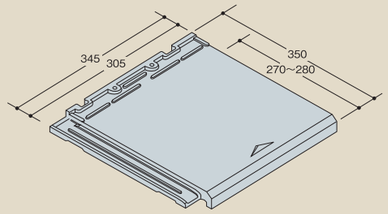


屋根に求められる条件を満たし、リーズナブルで高い施工性

「ナイス ザ フラット」は従来のいぶし平板瓦に比べリーズナブルでお求め安く、さらにスピーディに施工ができ、コストパフォーマンスに優れています。
屋根に求められる条件も満たしたクォリティの高い品質の「ナイス ザ フラット」。雨仕舞いもよく、吹き込む雨水の侵入を防ぎます。また耐久性に優れ、屋根材として要求される充分な強度をそなえているので踏み割れの心配がなく安心です。

高い機能性が 快適な住み心地をお約束

質感あふれる光沢が、住まいの格調を高めるだけでなく、風雨にさらされても色あせがしにくく、いつまでも屋根の美しさを保ちます。
外観だけでなく、屋根全体がエアーコントロールとして機能し、屋根から室内に伝わる熱を抑えるので、夏涼しく、冬暖かい快適な住まいをつくります。断熱性に優れているので冷暖房の効率を高め、経済的です。



※4/10勾配以上の屋根にご使用ください。
※4/10以下の場合、下地材施工法を特約工事店とご相談ください。

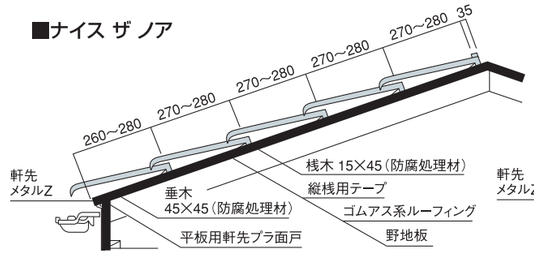
■製品仕様

寸　法	全長	350mm（±3mm）
	全幅	345mm（±3mm）
働き寸法	長さ	270～280mm（±3mm）
	幅	305mm（±3mm）
葺き枚数	3.3m²当たり（概要）40枚	

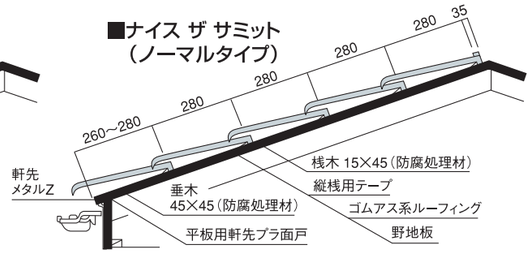
屋根瓦割寸法表

〈登り寸法図〉

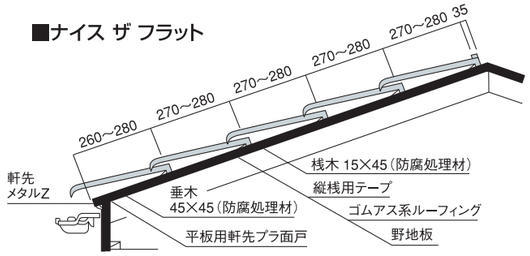
■ナイス ザ ノア



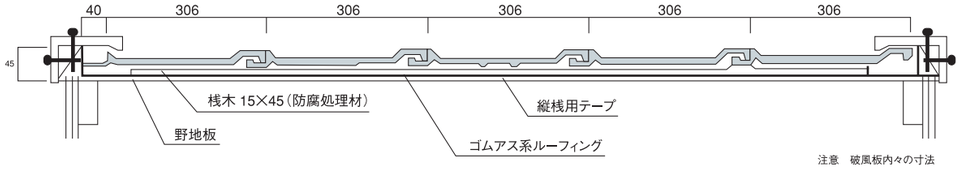
■ナイス ザ サミット（ノーマルタイプ）



■ナイス ザ フラット



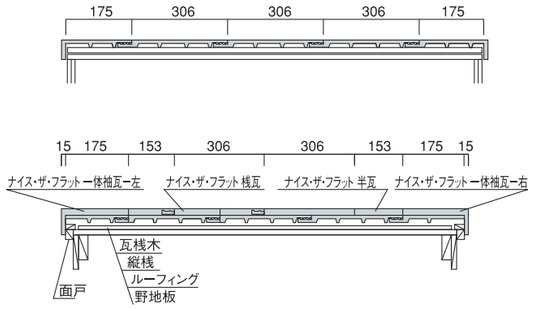
〈横割寸法図〉



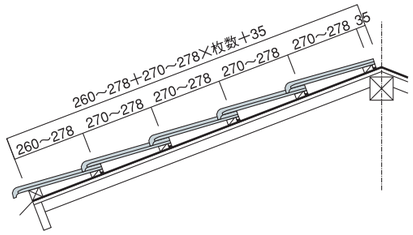
注意　破風板内々の寸法

■フラット一体袖を使用した場合（オプション） 306×枚数＋175＋175

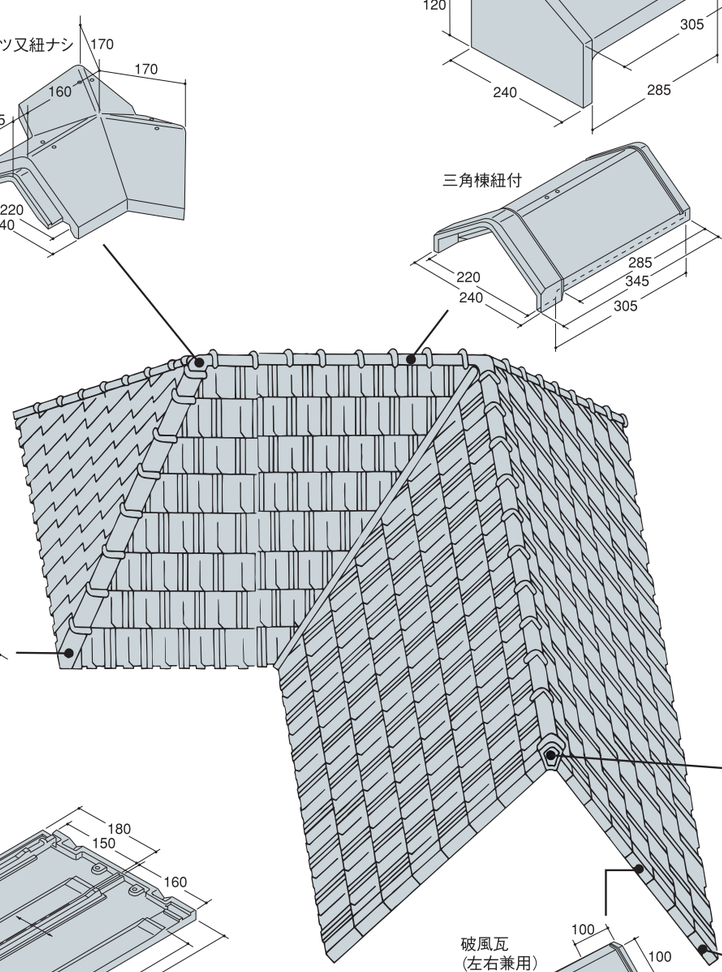
〈横割寸法図〉

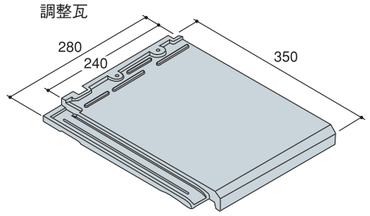


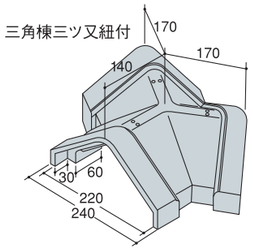
〈登りの割寸法〉

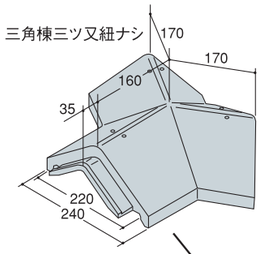


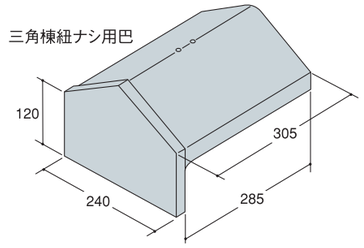
ナイス シリーズ　瓦の種類と使用箇所

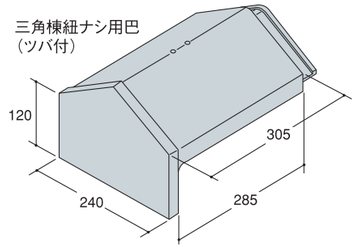


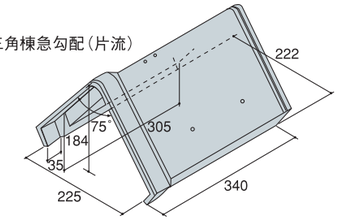
ナイス ザ フラット
調整瓦


三角棟三ツ又紐付


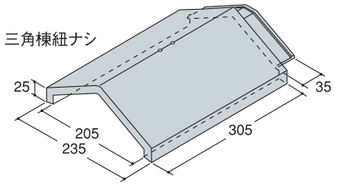
三角棟三ツ又紐ナシ


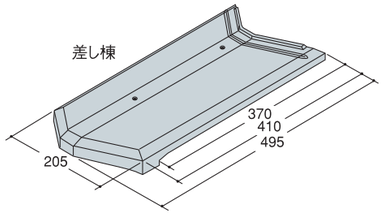
三角棟紐ナシ用巴


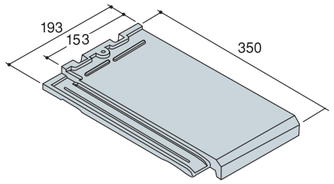
三角棟紐ナシ用巴
（ツバ付）


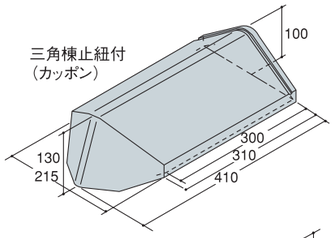
三角棟急勾配（片流）


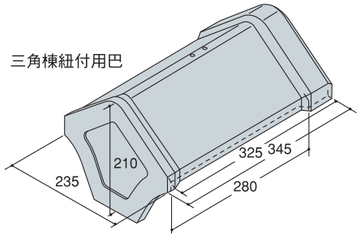
三角棟紐付

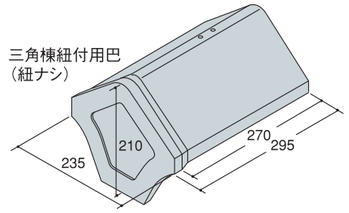
三角棟紐ナシ


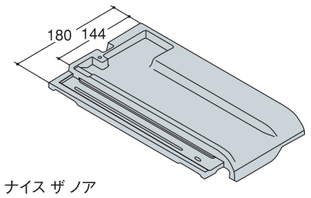
差し棟


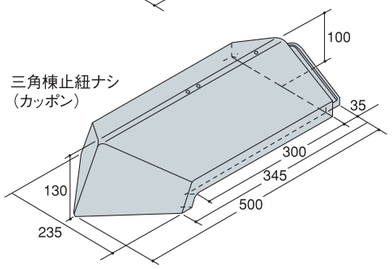
ナイス ザ フラット
半瓦


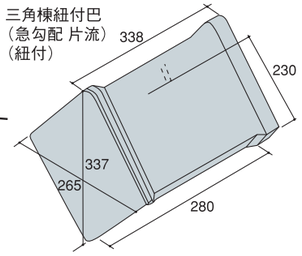
三角棟止紐付
（カッポン）


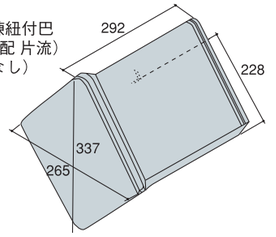
三角棟紐付用巴


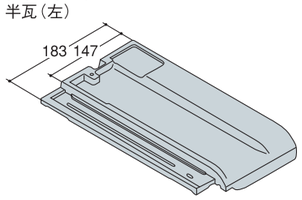
三角棟紐付用巴
（紐ナシ）


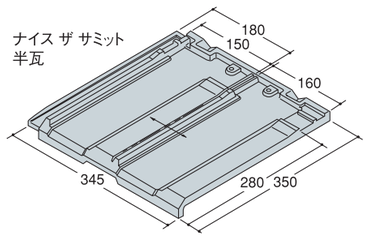
ナイス ザ ノア
半瓦（右）


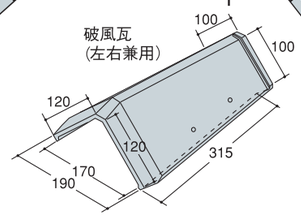
三角棟止紐ナシ
（カッポン）


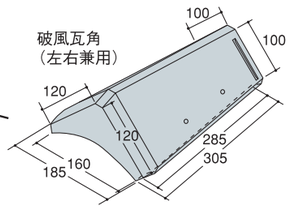
三角棟紐付巴
（急勾配 片流）
（紐付）


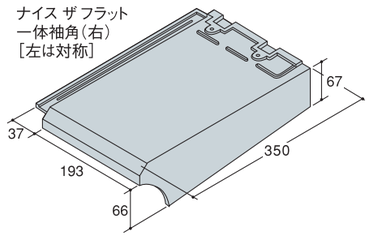
三角棟紐付巴
（急勾配 片流）
（紐なし）


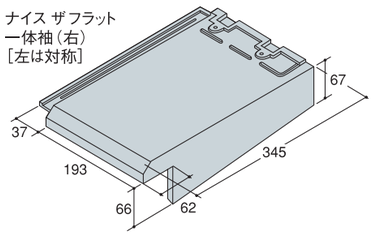
ナイス ザ ノア
半瓦（左）


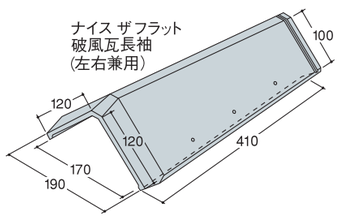
ナイス ザ サミット
半瓦


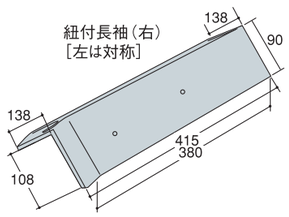
破風瓦
（左右兼用）


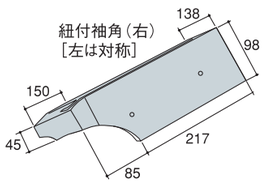
破風瓦角
（左右兼用）


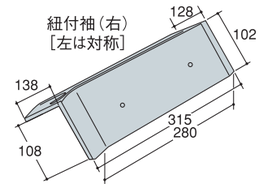
ナイス ザ フラット
一体袖角（右）
［左は対称］


ナイス ザ フラット
一体袖（右）
［左は対称］


ナイス ザ フラット
破風瓦長袖
(左右兼用)


紐付長袖（右）
［左は対称］


紐付袖角（右）
［左は対称］


紐付袖（右）
［左は対称］


瓦の持つ魅力が、住まいを生まれ変わらせる

住まいを守り、美しさを形作る屋根。高い信頼性を誇る瓦で住まいを美しく快適に。

老朽化した瓦を葺き替えることで見違えるほど美しくなります。

棟に飾りのしを入れることによって高級感を印象付けます。

和形スレート瓦をいぶしの平板に棟積みすることで新和風の味を出します。

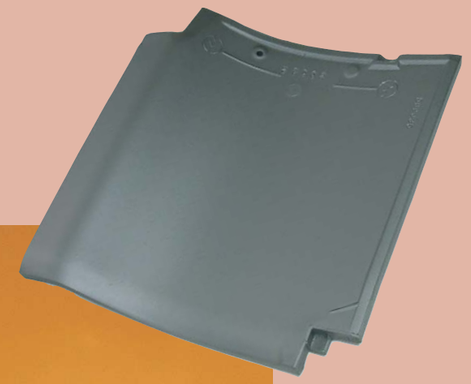
屋根の葺き替えと同時に壁を土蔵風にする事で、落ち着いた雰囲気に。

棟を積まない洋風S形瓦から棟を積む和風屋根にすると家に重厚感を与えます。

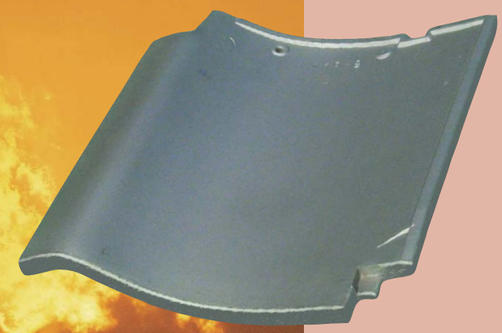
洋風スレート瓦をいぶしの平板瓦にすることで高級感を醸し出します。

風と振動を制する「合体構造」

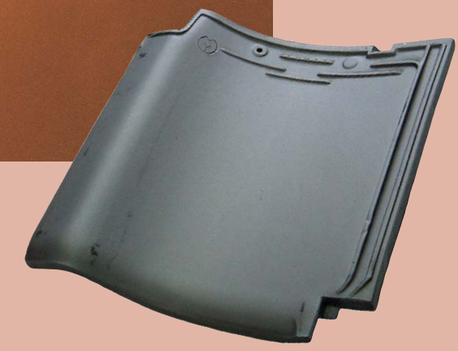
ナイスミドリ
ナイスミドリ+ONE



ナイスミドリ(面取)



ナイスミドリ(切落)
縦桟工法可能

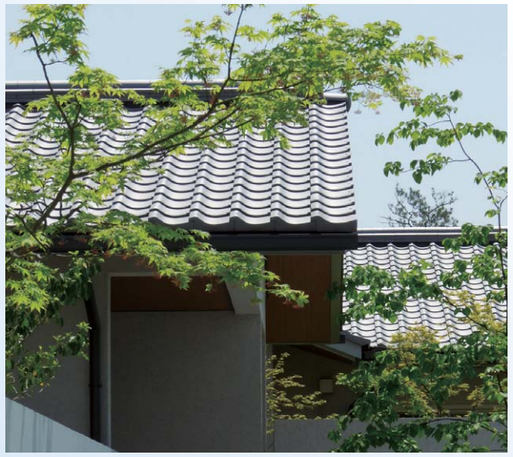


緩勾配瓦ナイスミドリ+ONE(面取)

日本家屋の快適性を保つ、強さと施工性。

何気ないふだんの景色に、すんなり溶け込むスタンダードな魅力。奥に秘めた力強さが、日本家屋の素晴らしさを守ります。

ナイスミドリ/ナイスミドリ+ONE〈防災タイプ〉



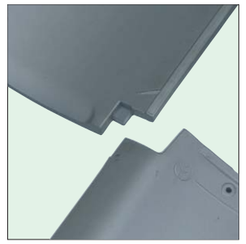
伝統の美しさに、高い信頼性をプラスしました。

ナイスミドリ

屋根全体がひとつの瓦。
合体パワーが屋根をしっかり守ります。

自然災害の影響を受けやすい日本家屋。その被害から、しっかりと守ってくれるのが、独自に開発した《合体構造》によってズレや飛散、落下などを防ぐ、画期的な防災瓦「ナイスミドリ」です。
“屋根全体をひとつの瓦に”という発想から、切り込み部分に付けられたツメにより、瓦と瓦をガッチリと合体。優れた施工性とデザインの美しさに加えて、地震や台風に強い、高い信頼性をプラスしました。

■合体構造



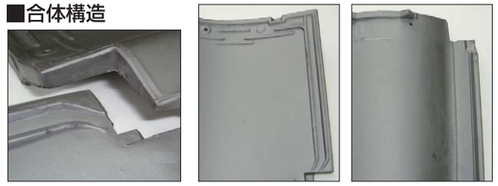
2つのツメのかみ合わせにより地震や風雨による瓦の拡散を防ぎます。

緩勾配瓦
ナイスミドリ＋ONE(プラスワン)

緩勾配屋根に最適。
最低2寸8分勾配の屋根でも安心です。

新築物件は勿論、セメント瓦等の緩勾配屋根の葺き替えにも安心してお勧めします。瓦表面上部、横縁に高さ6mmの立ち上りと、襟部分に二段の水返しを施し、裏面下部に毛細管作用防止の一線を施して、逆水、漏水、横漏れを完全にシャットアウトします。また、2つツメのかみ合わせにより地震や台風等による瓦のズレや飛散を防ぎます。合体構造なので、抜群の耐震・耐風性を発揮。地震や台風等の災害から住まいを守る優れものです。

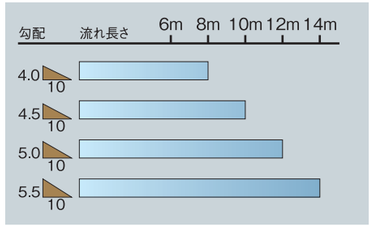
■合体構造



■ナイスミドリ耐風性能〈釘1本での緊結実験〉

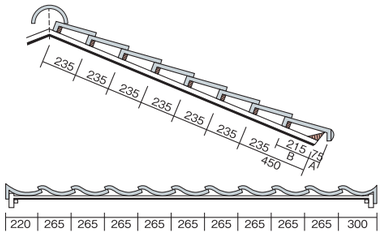
	計算式	従来の瓦(53A型)	ナイスミドリ
引き上げ力	53枚÷3.3m²=16枚/m² 引き上げ力(kg)×16枚=kgf	3kg×16=48.0kgf	30kg×16=480kgf
風速U(m/s) (単位1秒につきメートル)	風速=4×√引き上げ力kgf	4×√48kgf=27.7m/s	4×√480kgf=87.6m/s

■標準屋根勾配

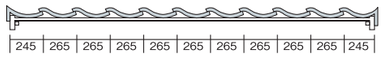


※この性能値は、保証値ではありません。
※実際に施工時には、地域や建物の種類等を考慮し、下地に注意してください。
※屋根勾配4/10未満の時は、工事店にご相談ください。

■差し葺きの場合



■覆せ葺きの場合



■製品仕様

寸法	全長	305mm(±3mm)
	全幅	305mm(±3mm)
働き寸法	長さ	235mm(±3mm)
	幅	265mm(±3mm)
葺き枚数		16枚/m²
重量		45～47kg/m²

■物性概要(実験結果)

曲げ破壊強度	2,000N以上
吸水率	11%以下

面取

切落

※ナイスだぜガッチリくんは、ナイスミドリの防災機能に縦桟工法機能をつけた瓦です。
※切落はナイスミドリ(切落)と同じ商品です。

先進のクォリティを備えた、次代の強者たち。

強さに信頼の高さを連ねた、先進のクォリティ。自然災害に対して果敢に立ち向かう、次代の強者たちです。

ナイスだぜ**ガッチリ**くん〈縦桟工法/防災瓦〉

縦桟工法

従来の瓦葺き工法の概念を打ち破った画期的な工法です。
桟瓦の差し込み側の裏にクボミを設け一枚づつ横桟木に引っかけると同時に、縦桟木にもそのクボミをハメ込みロックします。

和型瓦独自の曲面を2点支持で完全に固定します。上に乗ってもガタ付きません。また、横葺き工法も可能です。

瓦の施工中はもちろん、建設工事中や完成後も、いろいろな人が屋根にのぼります。JIS規格値より大きな強度を持っているため人が上がった時でも安心です。

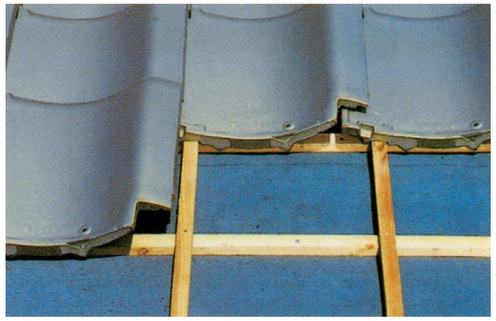
構造と工法の出会いが、防災瓦の領域を広げました。

独自の合体構造と特許工法の縦桟工法で、バツグンの強さを発揮します。

「ナイスだぜガッチリくん」は、画期的な特許工法と構造によって自然災害から家と屋根を守る、最新の防災縦桟瓦です。
切り込み部分のツメで、瓦と瓦をガッチリ組み合わせる《合体構造》。そして施工の際、横桟木に瓦を引っ掛け、縦桟木に瓦を組み込みロックする《縦桟工法》。このWの安心機能で、従来の土葺工法や引掛桟工法の欠点を克服、台風や地震によるヨコズレ・タテズレを止め、瓦の飛散や落下を防ぎます。
また、葺土を使わないので、屋根への荷重が大幅に削減されたことも大きなメリットといえるでしょう。

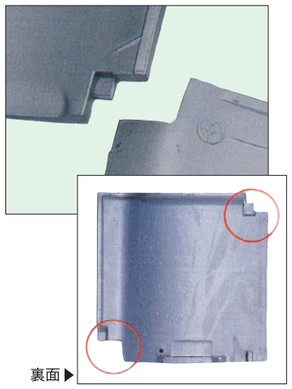
■縦桟工法図

縦桟工法は特許工法です。

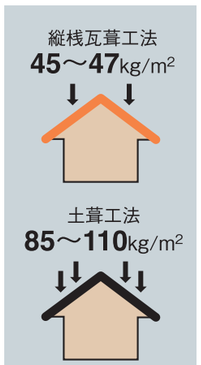


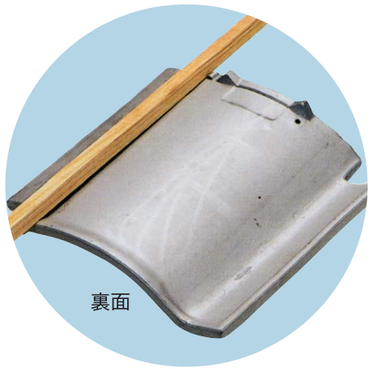
ナイスだぜガッチリくん（特許工法）

■合体構造

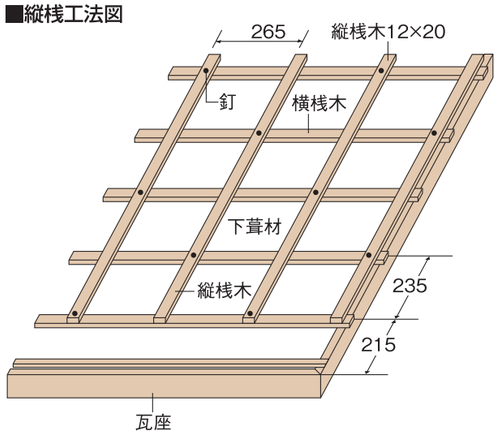


■1m²あたりの屋根重量



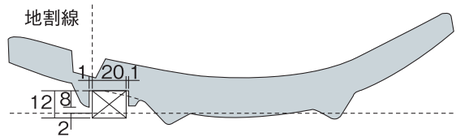


■縦桟工法図



最初に下葺き材に桟木を打ちつけ、さらに縦桟木（12mm×20mm）を打ち込みます。そして、その縦桟木に瓦をガッチリと組み込ませます。縦桟の釘は、全数または1枚ごとに打ちます。

■縦桟瓦断面図



■製品仕様

寸　　法	全長	305mm（±3mm）
	全幅	305mm（±3mm）
働き寸法	長さ	235mm（±3mm）
	幅	265mm（±3mm）
葺き枚数		16枚/m²

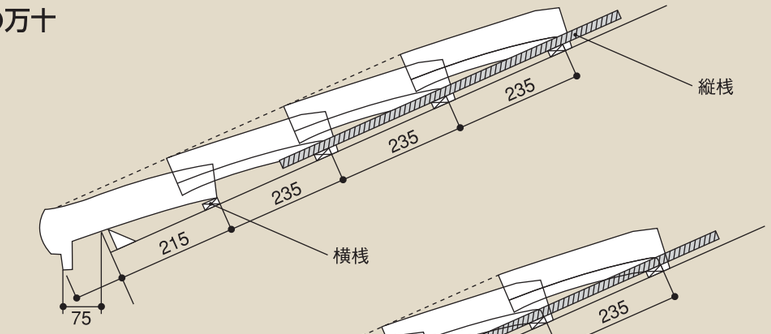
■物性概要（実験結果）

曲げ破壊強度	2,000N以上
吸　水　率	11％以下

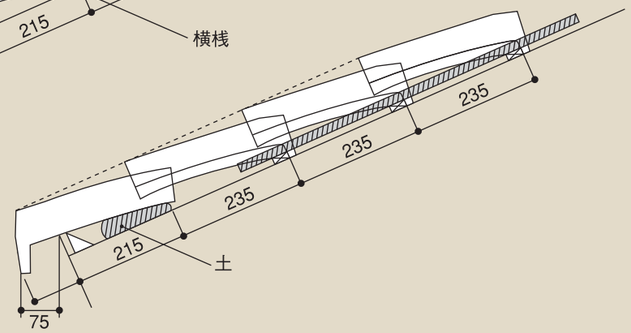
施工詳細図

〈軒〉

●万十



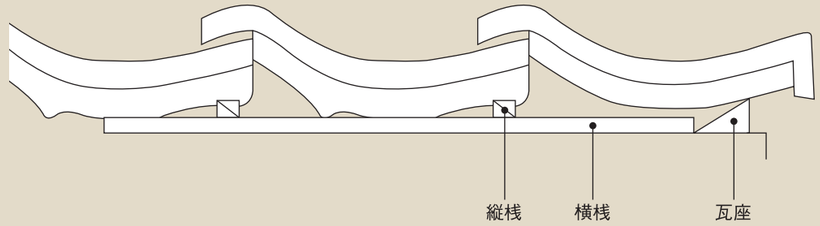
●一文字



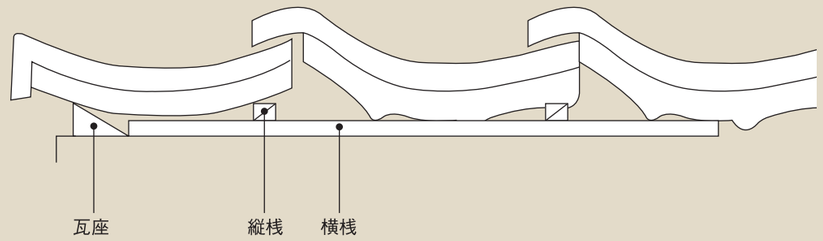
※万十唐草も、縦桟の爪が付いている場合は、万十の横桟まで縦桟をのばした方が、万十の施工は簡単です。一文字は、土で微調整をします。

〈ケラバ〉

●袖右



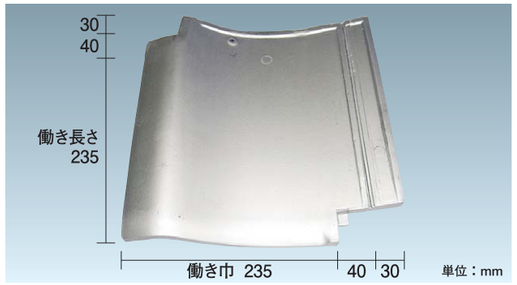
●袖左



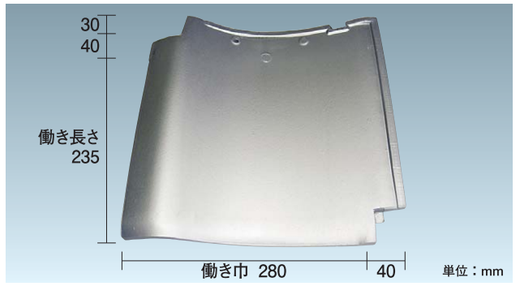
右袖は縦桟爪が付いていませんが、上に乗せるだけで安定します。

■その他の緑窯業製造販売品

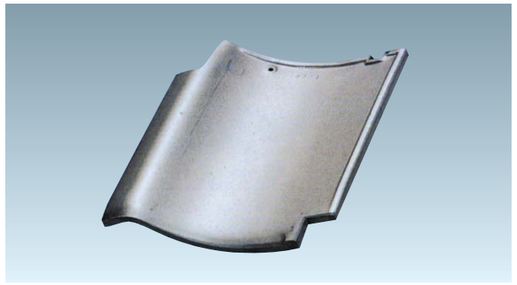
調整瓦　面取



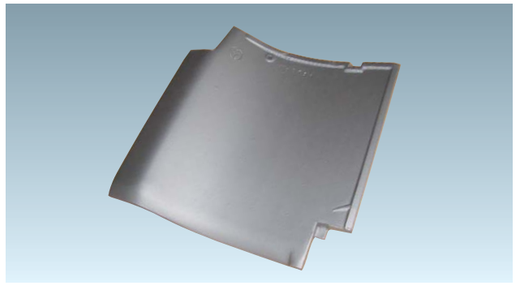
幅広調整瓦　面取・切落



中深瓦［ちどり］面取・切落（受注生産）



深切防災瓦［うず潮］面取



■性能データ（平成15年9月30日現在）

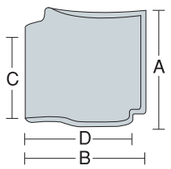
	吸水率	曲げ破壊強度
JIS規格（いぶし瓦）	15%以下	1500N以上
JIS規格（陶器瓦）	12%以下	1500N以上

（1kgf＝9.8N）

■規格（平成15年9月30日現在）

みどりいぶし瓦の規格JIS規格寸法（53A形）

寸　法	A	全長　305mm（±3mm）
	B	全幅　305mm（±3mm）
働き寸法	C	長さ　235mm（±3mm）
	D	幅　265mm（±3mm）

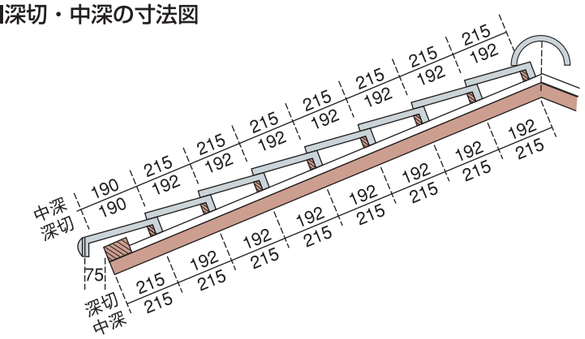


■野地勾配と桟瓦枚数

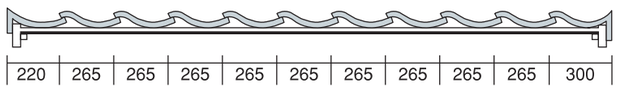
53A形		
勾配	枚数	寸法（mm）
3寸勾配	10	2,350
3.5寸勾配	20	4,700
4寸勾配	50	11,750
4.5寸勾配	70	16,450
5寸勾配	90	21,150
5.5寸勾配	110	25,850
6寸勾配	130	30,550

※勾配による流れ寸法（枚数）の安全限度を上記の通りとします。
※この資料は通常気候によるものです。
（平成15年9月30日現在）

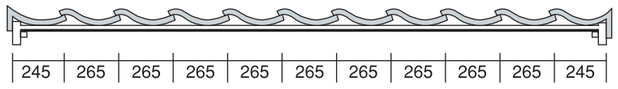
■深切・中深の寸法図



■差し葺き施行の場合（深切・中深も同じ）

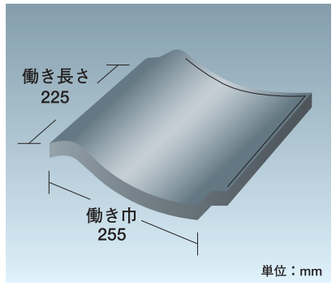


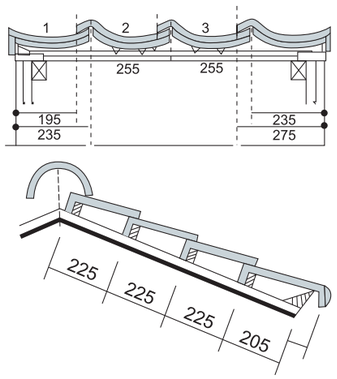
■覆せ葺き施行の場合（深切・中深も同じ）



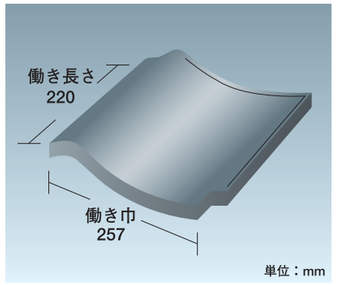
■修理・補修に便利なアイテム

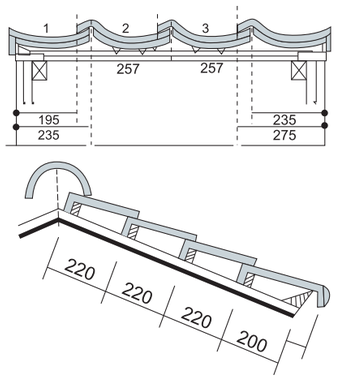
56判　切落・面取



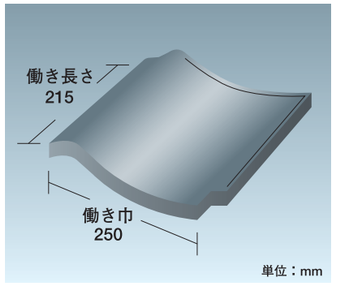


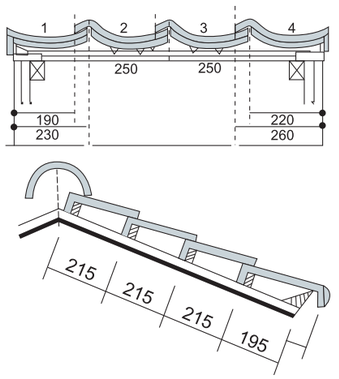
58判　切落・面取



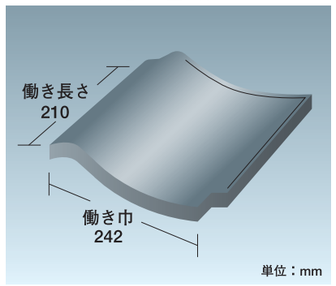


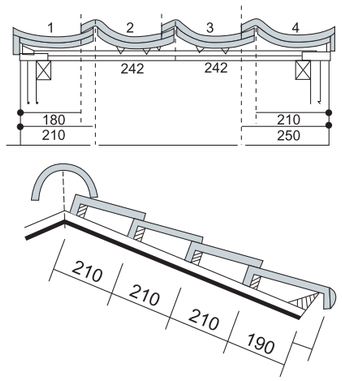
60判　切落・面取



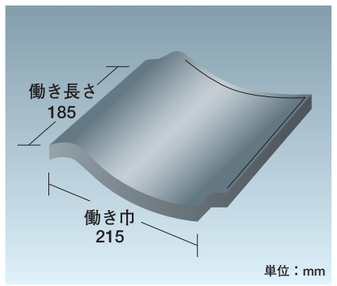


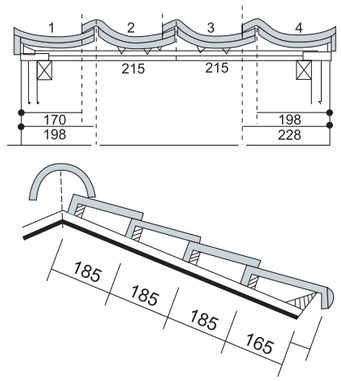
64判　切落・面取



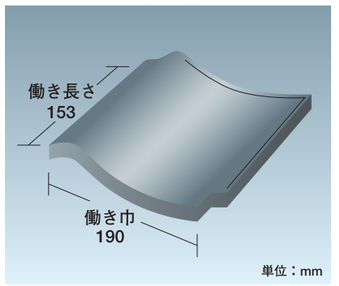


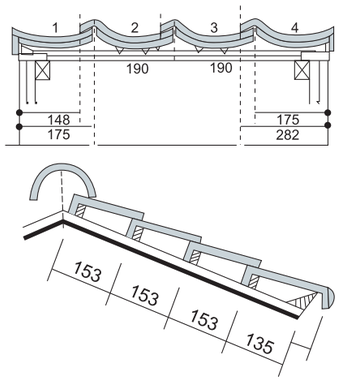
80判　切落・面取





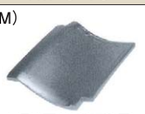
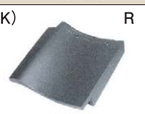
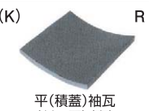
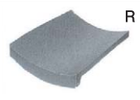
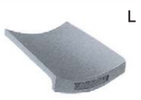
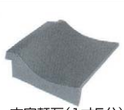
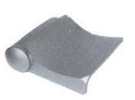
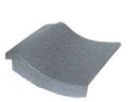
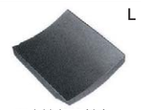
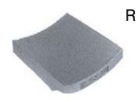
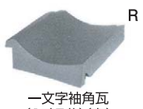
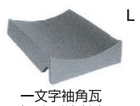
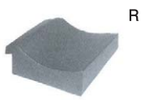
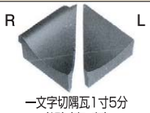
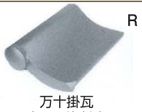
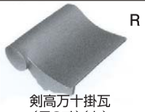
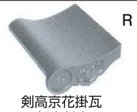
100判　切落・面取





※上記寸法表は参考寸法割図です。多少割りが変わる場合もありますので、ご不明な点はお問い合わせ下さい。

淡路いぶし瓦の種類

AW・J-10	AW・J-10	AW・J-11	AW・J-12	AW・J-13	AW・J-16	AW・J-20	AW・J-20	AW・J-20	AW・J-20	AW・J-21	AW・J-21	AW・J-24	AW・J-24
(M) 桟瓦(切落)	(M) 桟瓦(面取)	(K) 足深桟瓦(片)(中深)	(M) 足深桟瓦(両)(本深切)	 (M) 小幅桟瓦(地割調整用)	(M) 輪型雪止瓦	 (K) R 袖瓦(右)	(K) L 袖瓦(左)	(M) R 袖瓦(右)	(M) L 紐袖瓦(左)	(M) R 紐袖瓦(右)	(M) L 紐袖瓦(左)	(M) R 見せ掛け袖瓦(横車)(右)	(M) L 見せ掛け袖瓦(横車)(左)
AW・J-26	AW・J-26-1	AW・J-26-2	AW・J-30	AW・J-30-1	AW・J-32	AW・J-33	AW・J-34	AW・J-36	AW・J-38	AW・J-39	AW・J-50	AW・J-50	AW・J-52
 (K) R 平(積蓋)袖瓦(刻み平)(右)	 R 平袖角瓦無地(右)	 L 平袖角瓦唐草入(左)	万十軒瓦	雀口付万十軒瓦	巴付唐草(京花)軒瓦	石持万十軒瓦	 一文字軒瓦(1寸5分)	 万十一文字軒瓦(淀屋)	 鎌軒瓦(無地)	鎌唐草軒瓦	R 万十袖角瓦(右)	 L 万十袖角瓦(左)	R 巴付唐草(京花)袖角瓦(右)
AW・J-52	AW・J-54	AW・J-54	AW・J-68	AW・J-70	AW・J-72	AW・J-74	AW・J-84	AW・J-90	AW・J-90-1	AW・J-90-6	AW・J-90-7	AW・J-91	AW・J-200
 R 巴付唐草(京花)袖角瓦(左)	 R 一文字袖角瓦(1寸5分)(右)	 L 一文字袖角瓦(1寸5分)(左)	 R 重箱(右)(晒し蒼き・奴蒼き)用	R L 万十切隅瓦(組)(右・左)	R L 巴付唐草(京花)切隅瓦(組)(右・左)	 R L 一文字切隅瓦1寸5分(組)(右・左)	廻り隅瓦(万十トンビ)	R 万十掛瓦(尺)(右)	 R 万十掛瓦(尺2寸)(右)	 R 剣高万十掛瓦(尺2寸)(右)	 R 剣高京花掛瓦(尺)(右)	L 万十唐草掛瓦(尺)(左)	厚のし瓦
AW・J-201	AW・J-202-2	AW・J-202-3	AW・J-204	AW・J-205	AW・J-206	AW・J-207	AW・J-208	AW・J-209	AW・J-213-1	AW・J-213-6	AW・J-213-8	AW・J-220	AW・J-222
7大幅のし瓦	両紐台面のし瓦	片紐台面のし瓦	紐のし瓦(片紐のし)(大)	紐のし瓦(中)(1寸)	紐のし瓦(小)(5分)	雨切りのし瓦	菱のし瓦(ダイヤのし)(3~6個)	松葉菱のし瓦(3個)	のし止め瓦(のし鼻)(3段用)	蔓蛇の目万十のし瓦(3個)	青海波のし(輪のし)(3個)	土居面戸瓦(櫛形面戸瓦)	面戸付土居丸瓦
AW・J-230	AW・J-231-12	AW・J-231-20	AW・J-232	AW・J-233-4	AW・J-233-5	AW・J-240	AW・J-250	AW・J-253-11	AW・J-263-1	AW・J-270	AW・J-272	AW・J-285	AW・J-293
5寸紐丸瓦	6寸紐丸瓦	7寸紐丸瓦	棟素丸瓦(径5寸)	棟用素丸瓦(径6寸)	棟用素丸瓦(径7寸)	角桟伏間(雁振)瓦	丸桟伏間(雁振)瓦	紐付雁振瓦	幅広京伏間(垂付雁振)瓦	京箱丸桟(大)	京箱丸桟(小)	亀伏間	付　丸
AW・J-294	AW・J-295	AW・J-295-3	AW・J-300	AW・J-301-1	AW・J-303	AW・J-304	AW・J-304-5	AW・J-304-7	AW・J-305-1	AW・J-305-1	AW・J-305-2	AW・J-305-4	AW・J-306
紐付き付丸	垂れ紐付き付丸	垂れ紐付き付丸止め(端)	棟巴(跨巴)瓦万十(8寸)	棟円(跨巴)瓦8寸石持(ベタ)	棟円(跨巴)瓦面戸付(万十)(8寸)	棟円(跨巴)瓦中付万十巴	浪　巴	一文字石持拝み巴	棟巴瓦模様入(鶴)(尺)	棟巴瓦模様入(亀)(尺)	万十三日月巴(8寸)	牡丹二の巴	半月巴万十
AW・J-307-1	AW・J-307-2	AW・J-310	AW・J-311	AW・J-311-2	AW・J-312	AW・J-313	AW・J-330	AW・J-330-1	AW・J-330-2	AW・J-330-3	AW・J-330-4	AW・J-330-5	AW・J-330-7
浪千鳥半月巴	分銅巴	隅巴瓦(万十)	隅巴瓦模様入(つづ入り)	剣先模様入隅巴	網笠隅巴瓦(鎌棟用)	駒隅巴瓦(一文字用)1寸5分	巴蓋(おわん)	巴蓋(立浪)	巴蓋(牡丹)	巴蓋(菊)	巴蓋(鳩)	巴蓋(唐獅子)	巴蓋(桃)
AW・J-330-8	AW・J-330-10	AW・J-330-11	AW・H-25-1	AW・J-1002	AW・J-1002	AW・J-1003	AW・J-1004	AW・J-1005	AW・J-1041	AW・J-1042	AW・J-1042	AW・J-1043	AW・J-1044
巴蓋(鯉)	巴蓋(恵比寿)	巴蓋(大黒)	本葺用鳥衾(付け丸用)	覆輪(丸張)雲付丸立鬼2寸~9寸	覆輪(丸張)雲付丸立鬼三つ切8寸~尺2寸	覆輪(丸張)雲付降り鬼3寸~9寸	覆輪(丸張)雲付隅鬼3寸~9寸	覆輪(丸張)雲付柄振鬼(東)5寸~9寸	覆輪(角張)雲付跨鬼3寸~9寸	覆輪(角張)雲付丸立鬼4寸~9寸	覆輪(角張)雲付丸立鬼三つ切9寸~尺2寸	覆輪(角張)雲付降り鬼4寸~尺	覆輪(角張)雲付隅鬼4寸~8寸
AW・J-1045	AW・J-1082	AW・J-1082	AW・J-1083	AW・J-1201	AW・J-1201	AW・J-1203	AW・J-1402	AW・J-1402	AW・J-1403	AW・J-1404	AW・J-1501	AW・J-1503	
覆輪(角張)雲付柄振鬼(東)4寸~8寸	鬢付雲付丸立鬼5寸~8寸	鬢付雲付丸立鬼三つ切9寸~尺1寸	鬢付雲付降り鬼5寸~8寸	影盛台付跨鬼4寸~7寸	影盛台付跨鬼三つ切り7寸~9寸	影盛台付降り鬼(隅鬼兼)4寸~8寸	立浪丸立鬼4寸~7寸	立浪丸立鬼三つ切り8寸~尺1寸	立浪降り鬼4寸~9寸	立浪隅鬼4寸~9寸	海津(カイズ)跨鬼(丸立兼用)3寸~尺1寸	海津(カイズ)降り鬼3寸~8寸	
AW・J-1504	AW・J-1505	AW・J-1511	AW・J-1513	AW・J-1515	AW・J-1521	AW・J-1523	AW・J-1524	AW・J-1525	AW・J-2001	AW・J-2003	AW・J-2005	AW・J-5002	
海津(カイズ)隅鬼5寸~6寸	海津(カイズ)柄振鬼(東)5寸~8寸	京海津(京風カイズ)跨鬼(丸立兼用)3寸~尺	京海津(京風カイズ)降り鬼4寸~8寸	京海津(京風カイズ)柄振鬼(東)6寸~8寸	旭海津(カイズ)跨鬼(丸立兼用)3寸~9寸	旭海津(カイズ)降り鬼3寸~9寸	旭海津(カイズ)隅鬼5寸~6寸	旭海津(カイズ)柄振鬼(東)5寸~8寸	数珠掛跨鬼(丸立兼用)4寸~9寸	数珠掛降り鬼(隅鬼兼用)4寸~8寸	数珠掛柄振鬼(東)5寸~8寸	御所丸立鬼(別注)	

次代へと続く“甍の波”を、緑窯業が伝えます。

瓦が日本に伝来して、約1,400年。
当時より続く淡路島の瓦づくりは、日本の歴史に多くの足跡を残してきたことでしょう。
現在、使われている瓦のほとんどは、淡路島を中心とした淡路瓦をはじめ、
愛知県三河の三州瓦、そして島根県の石州瓦の三大産地でつくられています。
私たちが目にする日本瓦は、燻化してつくるいぶし瓦と、釉薬を使った陶器瓦に大きく分類され、
淡路島は、いぶし瓦の生産量で全国一を誇ります。
このいぶし瓦は、銀色に淡く輝く色艶、しっとりとした風格から根強い支持があり、
なかでも色艶と色もちで群を抜いている淡路のいぶし瓦は、
日本瓦の代名詞と言っても過言ではないでしょう。
私たち緑窯業株式会社は、このように素晴らしい淡路瓦を、
より多くの人に知ってもらいたい、そして使ってもらいたいという思いから、
新製品の開発、生産、普及など、あらゆる面での活動を拡大。
瓦づくりを通して、淡路島に根づいた日本の伝統の技と知恵を、
次代に伝えていきたいと考えています。

会社概要

創　　立	昭和38年11月
資 本 金	4,950万円
代 表 者	代表取締役社長　前川 雅文
営業種目	いぶし瓦製造販売 各種陶器瓦販売
生産品目	いぶし和瓦、平板瓦
生産能力	いぶし和瓦160万枚 いぶし平板瓦40万枚
従業員数	50名

生産設備	最新鋭コンピュータシステム
	トンネルキルン（日本ガイシ製） 平板瓦　8行1段 1基 和　型　8行1段 1基 和　型　10行1段 1基 コンピュータシステム 単独窯（2,000枚）1基
平乾燥設備	和型桟瓦 2基　平板瓦 1基 のし瓦　1基　役物瓦 1基
取引銀行	淡路信用金庫 掃守支店 商工中金 神戸支店 三井住友銀行 洲本支店

■本社各工場　日本工業規格適合性認証書

淡路瓦の特性

耐震性
台風や地震など、自然災害の多い日本では、屋根材を選ぶにも、より慎重を期す必要があるでしょう。その点瓦は、素材自身が強度や耐圧性に優れているだけでなく、形態上のアイデアや施工法による工夫で、衝撃によるズレや落下を防止。安心してお選びください。

耐火性
建築基準法に明記されている通り、完全な不燃材である瓦は、火災のときでも割れたり、溶けたり、有毒ガスが発生したりすることがありません。特に淡路瓦は1,000～1,060℃の窯でじっくり焼き締めますから、耐火性は折り紙付。逆に屋根からの類焼を防ぎます。

耐火建築物（建築基準法第2条第九号の二）で不燃物として規定

通気性・断熱性
瓦は、夏涼しく冬暖かい特性を持っています。その重なり部分には、空気だけを通す道があり、屋根全体がエアコン状態。さらに瓦自身も熱を反射します。また高温で焼き締められた瓦は、熱伝導率が低く断熱性に優れていることから、冬場でも安心。四季のある日本の住宅には最適の屋根材です。

耐寒性
瓦はかつて、寒冷地では活用されませんでした。それは瓦なかの水分が凍結して、亀裂や剥離が発生したからです。しかし今は、吸水率の抑制や強度の増大など、品質が向上されたことから、北海道、東北などの北国でも使われるようになりました。

安全性
断熱材として使われるアスベスト公害が問題になっています。でも瓦屋根にはそんな心配はいりません。瓦はもともとナチュラルな素材。人にも環境にもやさしい理想的な屋根材です。また、酸・アルカリにも強いことから、大切な住まいを酸性雨から守ってくれます。

経済性
日本の気候、風土に育まれ、様々な自然災害に耐えながら現代へと伝えられてきた瓦。その強さは、1,400年余りの歴史が保証してくれます。耐久性に優れ、丈夫で長持ち、メンテナンスも手軽なことから、長い目で見れば経済的にも優れた屋根材だと言えるでしょう。